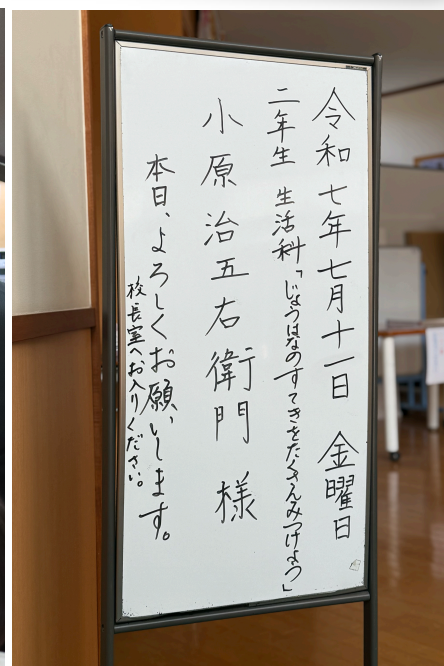


城端小学校2年生 生活科

じょうはなのすてきをたくさん見つけよう

治五右衛門 News Letter Vol.17



7月11日(金)、城端小学校2年生の生活科「じょうはなのすてきをたくさん見つけよう」の授業にお招きいただきました。

子供たちに、干菓子盆や銘々皿などの漆器に触れてもらいました。

「うわー、思ったより軽い!」「ツルツルだー!」と、感じたことをその場で話してくれたので、「曳山に塗られている漆だよ!」と伝えると、目を輝かせていました。

城端で生まれた作品や曳山の修復についても話しをしたところ、

「治五右衛門さんの活動に勇気を感じた!」と言ってもらえたことが嬉しかったです。

授業の最後には、子供たちがタブレットで「治五右衛門塗」や、「じごえもん未来プロジェクト」の高校生研修生が描いた蒔絵を撮影していましたが、気づけばツーショット撮影会にまで発展しました!(笑)

2学期は「治五右衛門という人物」について研究してくれるそうで、楽しみにしています。

これからも、城端っ子たちが城端の魅力や、身近にある伝統の技と心に触れる機会を作っていきたいと思います。

十六代 小原治五右衛門

富山青年会議所 7月公開例会 2025.7.15

富山青年会議所 7月公開例会にお招きいただき、前刀 禎明さんとのトークセッションに登壇しました。「クリエイティブデザインで未来創造」と「城端蒔絵450年の伝統の継承」という二つの視点を掛け合わせ、それぞれの経験から未来を創ることの大切さを多角的に語りました。伝統を守ることと、新しい挑戦を続けて進化することは矛盾せず、むしろ未来に向けた強い原動力になる。そんな無限の可能性を追求することの大切さを、会場の皆さんと共有する貴重な時間となりました。



START CAMP 2025 in 明和町 2025.7.18

三重県明和町で開催された「START CAMP 2025」にて、昨年城端を訪れた主催者・海野慧さんとのご縁から登壇。「日本文化の本質をどう現代に活かし、世界に届けるか」をテーマに、藤本宏樹さんの進行のもと、鈴木宗成さん、岩本涼さんと共に共創ディスカッションを行いました。伝統、哲学、美意識といった日本が育んできた文化を改めて見つめ直しながら、地域、世代を超えて交わる思考を深めました。参加者と共に、日本らしさとは何か、世界とどう交わるべきかを深く探る濃密な時間となりました。

じごえもん 未来プロジェクト 2025.7.31

砺波地区中学校文化連盟主催「令和7年度 秋のアートワーク大会」が砺波市美術館で開催され、ワークショップの講師を担当しました。砺波地区の中学校美術部生徒約100名が参加し、蒔絵の技法や意匠考案について説明。今回は共通課題として「紅葉」の文様を描きましたが、単なる形や色を写すのではなく、紅葉のいのちを感じ、そのいのちの線を描くことを意識して取り組みました。同じ題材でも、一人ひとりの眼差しと表現は異なり、若い世代の豊かな感性と集中力に、こちらが学ばされる場面も多くありました。



Messages from Friends

小原さんとの初めての出会いは2011年東北大震災の年の春でした。南砺市長 田中幹夫さんの肝入りで南砺市写真集の撮影の為に1年間季節を通して訪れることになる最初の訪問のときでした。

城端蒔絵や曳山祭のことは全く無知な私に事細かにとても熱く語って頂いたことが思い出されます。

実際に修復中の曳山や自身の作品、ご先祖の作品も拝見させて頂き白蒔絵のことも教えて頂きました。

今でも印象に残っていますが特に印象的だったのが父上にあたる日本画家の十五代目よりも、曳山の歴史を熱く語ってくれたという祖父の十四代目の影響が強い様に感じたことです。

十四代目が2003年に85歳で亡くなった時、小原さんは24歳です。幼少の頃から祖父の曳山愛を全身全感覚で感じていたと思われ、後年迷わず今の道に進んだことは間違いない事実です。

これは想像するに一子相伝どころか安土桃山時代から450年続く奥義、秘法、本質が十六代 治五右衛門のDNA、血の中に脈々と流れ存在している証だと思います。

これからも十六代目小原治五右衛門は伝統を継承し、アバンギャルドな表現に挑戦し独自の表現を残していくことでしょう。

このDNAが次の450年に繋がっていくことを想像します。

広川泰士

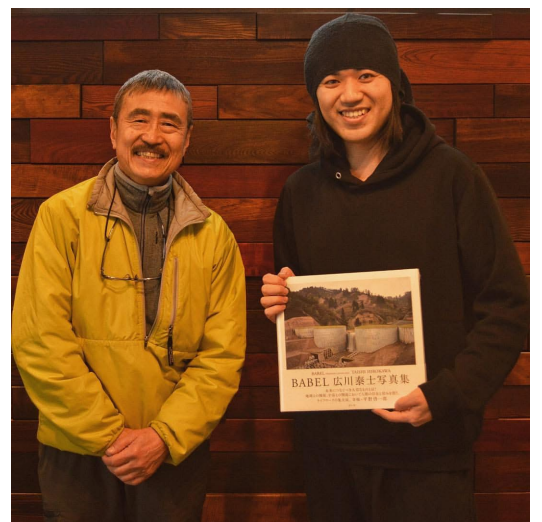


写真家

広川 泰士 / HIROKAWA Taishi

神奈川県生まれ。世界各都市での個展、美術展への招待出展多数。講談社出版文化賞、NY.ADC賞、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、日本写真協会賞、東川町国内作家賞、他受賞。ロサンゼルスカウンティ美術館、プリンストン大学美術館、サンフランシスコ近代美術館、ミュンヘンレンバッハハウス美術館、フランス国立図書館、東京都写真美術館、東京国立近代美術館、他で作品が収蔵されている。

<http://hirokawa810.com/>





OHARA Jigoemon XVI

- Johana Makie -

令和7年(2025)

【活動報告】

- 7月11日(金) 城端小学校 講演会
- 7月15日(火) 理事会 / 富山青年会議所 講演会
- 7月18日(金) START CAMP 2025 登壇
- 7月21日(月) 理事会
- 7月27日(日) 日本工芸会富山支部 幹事会
- 7月30日(水) 城端蒔絵450年記念展 ミーティング
- 7月31日(木) 令和7年度 秋のアートワーク大会

令和6年度能登半島地震・大雨被害で被災された
皆様に心よりお見舞い申し上げます。
被災地ではまだ不安な日々をお過ごしのことと拝察いたします。
1日も早い安心の暮らしの蘇りに結ばれますよう祈念いたします。

〒939-1865 富山県南砺市城端4316-1

Tel / Fax: 0763-62-1156

E-mail: info@jigoemon.com



<https://www.jigoemon.com>